

おむすびハウスではいろいろな活動が楽しめます
今回のテーマは「カルチャー」です

新しい話題は「おむカル」から

2020年1月からの新型コロナ感染の影響を受けて対面の行事を行うことができなくなりました。おむすびハウスの活動継続が危うくなった時期でした。その困難なときに、直接対面しないオンラインならば開催でき、広くおむすびハウスを知ってもらえるのではということで「おむすびカルチャー」を始めました。

2021年3月に運営委員による川柳の話でスタートし、そ



高柳さん

スライドを使っての高柳さんの詳細な説明

の後、建築の話や海中ダイビング映像の上映、講談・落語の笑い、ジャズ熱唱、竹細工の紹介、防犯・防災問題、高齢者の難聴問題など様々な話題を選んで、運営委員やその道の専門家の人たちに最新の知識を披露してもらってきました。

現在は不定期ですが、おむすびハウスでの対面とオンラインとで結ぶハイブリッド形式で開催しています。



熱弁をふるう大熊さん

36回目のテーマは「みたかと戦争と平和」で、講師はICU高校教員の高柳昌久さん。戦前三鷹市にあったスバルの前身の中島飛行機などの航空機関連の研究所や陸軍の調布飛行場の説明と、それらを標的とした空襲やその巻き添えになった被害についての話がありました。

さらに井の頭3丁目在住の大熊隆吉さんからは、自らの戦争体験のお話がありました。戦争の悲惨さと平和の大切さを知ることができた一日でした。1月19日に開催しました。

身についた技は永遠です

いまは大量生産、大量消費の時代ですが、自分たちの手を動かしてポーチや手提げ袋などの小物作品を作ること大切。おむすびハウスでもお互いに作品を持ち寄り、型紙を貸したり、作り方を教えあったりして手作りの技を伝えています。

参加者の一人のYさんは90歳を過ぎていても、色彩やデザインのセンスが抜群で仕上げも綺麗なため、皆さんからとても頼りにされています。細かな仕上げのコツは手から手でないと伝わりません。

終了間近にはお茶、コーヒー、お菓子などで一息いれて、お喋りをしながら仕上がり作品のお披露目もしています。「参加して楽しかった次回も来たい」と思っただけのように私たちも心掛けています。

(おむすびハウスで作品の販売を行っています)



なるほど、こうすればいいのね

おむすびハウスでワクワク体験！

スマホ・パソコンの分からないことはまかせてください



Zoomの講座はおむすびカルチャーと一緒に始めましたが、回を重ねてZoomへのニーズが落ちついたところで、スマホやパソコンの操作の疑問や困りごとに答える相談会に衣替えしました。

マンツーマンで1時間、スマホの文字入力や電話のかけ方などの基本操作から、LINEなどのアプリの使い方、パソコンのバージョンアップなど、相談される方のそれぞれの疑問や困りごとに対応しています。

これから益々スマホやパソコンによるサービス提供が増えて行きます。「分からないからスマホは使わない」ということではなく積極的に活用して生活の質を向上させてください。そのお手伝いをします。

申し込み・問い合わせは050-6863-5121池田まで

地域のことをもっと知りたい

三鷹市は自然・文化・歴史・人財や技術など地域資源が豊富です。多くの企業がある中で、今回、牟礼6丁目の日本無線史料展示室を訪問して戦前・戦後の無線装置について説明をお聞きしました。真空管を使用した通信装置の説明から始まり、現在は市の防災行政無線放送を受諾されていて、私たちの生活の安全に関わっていることを知りました。

昔の工場近郊のパネル写真もあり、参加者の人達が「いまはマンションになっているところだ」と往時を懐かしく語り合う場面もありました。「心のエクササイズ」の活動の一環で2025年9月18日に実施しました。



海底から引き上げられた旧海軍の一式陸攻に搭載されていた同社の無線装置